

耳よりセンターだより

2013年12月号・2014年1月号 2013年12月15日発行

109

発行元：山口県聴覚障害者情報センター 〒747-1211 山口市鑄銭司南原2364-1
TEL 083-985-0611 FAX 083-985-0613
http://www.c-able.ne.jp/~lookym33/ メール lookym33@c-able.ne.jp

聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会に参加しました



11月13日(水)から15日(金)の3日間、全国聴覚障害者情報提供施設協議会主催の聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会が、福岡県聴覚障害者センターで開催されました。映像製作を担当する職員など全国から39人が参加しました。

1日目は、(独)情報通信研究機構の葦苅氏による「NICTユニバーサルコミュニケーション研究所の取り組み」についての講義と熊本県の字幕サークル「おむすび」の取り組みについての報告があり、技術の進歩に驚きました。2日目は、

基礎コースと応用コースに分かれました。基礎コースは、三脚の使い方や編集の方法を学び、情報交換を行いました。応用コースでは地デジ放送に字幕を入れる方法やホワイトバランス・アイリスの調整などを詳しく教えていただき、各施設の状況などを報告されました。3日目は、最近の取り組みとして、電話リレーサービスや改正著作権法の取り組みが報告されました。

映像制作に必要な基本的事項を分かりやすく学ぶことができ、とても有意義な研修でした。





行事報告



平成25年度山口県要約筆記者登録試験を実施しました

10月24日(土)に要約筆記者養成ステップアップ研修会全課程修了者に対して、16名の受験があり、平成25年度山口県要約筆記者登録試験を実施しました。受験者の合格発表は、11月18日(月)に行いました。

平成25年度山口県手話通訳者登録(全国統一)試験対策講座を開催しました

10月27日(日)の10時から16時と、11月3日(日)10時から15時に山口県手話通訳者登録(全国統一)試験対策講座を実施しました。

10月27日(日)には、「場面通訳試験」対策講座を、11月3日(日)の午前中に筆記試験対策講座を、午後に「手話の要約試験」対策講座を行いました。

一人でも多くの皆さんが合格されるよう、祈念しています。

各市町設置通訳者研修会を実施しました

県内の市町に設置されている通訳者を対象とした3回目の研修会を、11月12日(火)に実施しました。

長崎県の富永君代氏を講師にお迎えし、ご自身の体験をもとに手話通訳者の健康障害の要因と予防対策についてお話しいただきました。

参加者からは、「貴重なお話を聞くことができ良かった。自分の健康を考える糧にしたい。」等の感想がありました。

盲ろう者通訳・介助員養成講習会IN周防大島を実施しました



講習会の最終日となる12月1日(土)は、今までの学習の総まとめとして周防大島町で行われた山口盲ろう者友の会の交流会に参加し、移動介助実習と通訳介助実習を行いました。午前中は、盲ろう者と一緒にみかん狩りをしました。初めて、みかん狩りを体験された盲ろう者も受講生も園内食べ放題のみかんを口いっぱいにはおぼり、とても楽しそうでした。午後は、場所を移し、全員で昼食を取りました。交流会では、フラダンスが披露され、ステ

キな衣装を身につけて、一緒に体を動かしました。とても楽しい交流会でした。

今年度は、6名の方が修了されました。これからも盲ろう者と心の交流を深められ、盲ろう者福祉の担い手として活躍されることを期待しています。



平成25年度山口県手話通訳者登録(全国統一)試験を実施しました

12月7日(土)に、平成25年度手話通訳登録(全国統一)試験を行いました。今年度の受験者数は、23名です。

一人でも多くの合格者があるよう期待しています。

字幕ビデオライブラリーだより

お知らせ



平成25年10月24日に新しい字幕付DVDが入荷しました。

媒体	利用区分	分類番号	番組名
DVD	A-3	DA2013-002	ハートネットTV NHKハート展 叱られたとき
DVD	A-3	DA2013-048	ハートネットTV みつえとゆういち - 親子で紡ぐ認知症漫画 -
DVD	A-3		くまもと聴障ビデオマガジン「みるっく」 2013年11月号～12月号

日本語字幕付き映画上映のお知らせ

イオンシネマ防府（防府市中央町1-3イオン防府店2F）

TEL 0835-22-9066 FAX 0835-22-9067

かぐや姫の物語

日：平成25年12月15日（日）～18日（水）

カノジョは嘘を愛しすぎている

日：平成25年12月23日（月）～26日（木）

MOVIX周南（下松市中央町21-3ザ・モール周南内）

TEL 0833-45-2600 FAX 0833-45-2605

ルパン三世VS名探偵コナン THE MOVIE

日：平成26年1月5日（日）～8日（水）

宇部シネマスクエア（宇部市明神町3-1フジグラン宇部2F）

TEL 0836-37-2525 FAX 0836-37-2528

劇場版SPEC～結～爻の篇

日：平成25年12月19日（木）～21日（土）

劇場版HUNTER×HUNTER - The LAST MISSION -

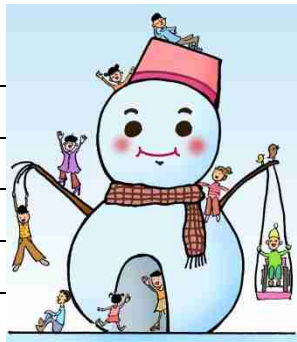
日：平成26年1月23日（木）～25日（土）

永遠の0（ゼロ）

日：平成26年1月26日（日）～29日（水）

上映時間については、別途、各関係団体等にお知らせします。

12・1・2月のセンター・法人主催行事予定

12月21日(土)	要約筆記者養成講座 ・ パソコン実技 法人主催 第2回聴覚障害者交流サロン～しめ縄作り	
1月11日(土)	要約筆記者養成講座 ・ 手書き実技 手話通訳者現任研修会	
12日(日)	手話通訳者養成講座・基本課程	
18日(土)	要約筆記者養成講座 ・ パソコン実技	
19日(日)	手話通訳者養成講座・基本課程	
2月 4日(火)	設置通訳者研修	
22日(土)	手話通訳者養成担当講師現任研修会	
23日(日)	手話通訳者養成担当講師現任研修会	

センター年末年始休館日及び

ライブラリー貸出期間延長のお知らせ

当センターの年末年始の休館日は、

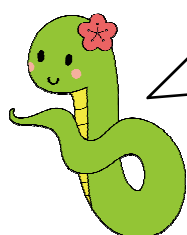
平成25年12月28日(土)～平成26年1月4日(土)です。

それに伴い、ライブラリーの貸出期間を4週間に延長します。但し、12月14日(土)～27日(金)の間に貸出される方のみが対象となります。また、個人は9本まで借りられます。団体は、20本までです。

各種データ

	9月	10月	11月	合計
利用者数	358人	812人	191人	1,361人
ビデオライブラリー	2本	9本	24本	35本
手話通訳派遣者数	15人	37人	30人	82人
要約筆記派遣者数	4人	33人	11人	48人

手話通訳及び要約筆記派遣者数は、福祉協会から派遣(斡旋含む)した数字です。



今年1年、本当にお世話になりました。どうぞ、よいお年をお迎え下さいますようお願いいたします。

2014年も、よろしく
お願いいたします。



第1回聴覚障害者交流サロンを開催しました



講演

平成25年11月30日(金)に社会福祉法人山口県聴覚障害者福祉協会主催で「第1回聴覚障害者交流サロン」を実施しました。聴覚障害者、盲る者、聴覚障害者を支援する方、県や市の行政担当者も含め、15名の参加がありました。

今回のテーマは、「防災について学ぼう～もしも、災害が起こったらあなたはどのように対応しますか～」で、午前中は、防府市聴覚障害者災害対策協議会

会長の石川範光氏をお招きして、「防府市聴覚障害者災害対策協議会の活動と歩み」の講演をしていただきました。この協議会は、平成11年の台風18号による被害で防府市内の聴覚障害を持つ高齢者夫婦が被災したことがきっかけで聴覚障害者自身の「自分の命は自分で守ろう!」という意識が高まり、市内関係団体との協議を経て、平成19年3月11日に発足されました。常日頃から自分達の住んでいる地域を知り、防災意識を高めるための学習や災害が発生した際に情報を円滑に流せる体制づくりなどに取り組まれています。市内を5つのエリアに分けた連絡網の整備や防府市消防本部と連携したSOSカードの制作、聴覚障害者と健常者がコミュニケーションできる「防災サイン」の考案など、地域住民と連携した防災学習の開催、防災訓練への参加等を行っている。とのお話でした。

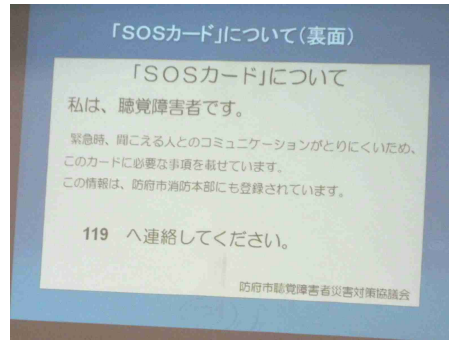
午後には避難所での弁当とした食事や交流ゲーム、反省会を行い、参加者の皆さんは、楽しいひとときを過ごされました。また、参加者の声として、参加して良かった、ためになった、と感謝のことばがありました。



交流ゲーム



反省会



1. 活動の成果があったもの(主な内容)

(1) 助成金の活用により、事業を展開できたこと。

発足時のハード面の整備、防災サインDVD制作等

(2) 一斉配信システムの導入ができたこと。

県・市・市消防との情報や会独自の情報が個々にとれるようになった。

(3) 消防本部との連携ができていること。

「SOSカード」を作成し、会員個々の情報を一括登録し、救急時のコミュニケーションツールとして活用できるシステムができた。

Web119 緊急通報システムの開始により、携帯電話から 119 通報ができるようになった。



2. 今後の課題(主な内容)

(1) 地域住民との付き合いがいざというときに共助となるため、地域・地区の各種行事に積極的に参加していくよう働きかけたい。

(2) 自分を知り、自分の住んでいる地域を知り(災害環境) 防災意識を高めるため、学習や実践の場を提供したい。

(3) 障害者と支援者の体制を地区ごとに作成し、災害時に機能できるよう整えるため、個と全体の関係が分かるような工夫をしたい。

(4) 自治会との連携の強化

自治会連合会との連携を進め、市内100余の自主防災組織の防災活動に該当する会員が参加できるよう、努めていく。

